



東京の産業と教育

No. 158

会 の 目 的

本会は産業界、教育界及び行政当局が一体となって相互に連絡協調し、本都における国公立の中学校、高等学校、高等専門学校、短期大学および専修学校等の産業教育の改善・進歩をはかり、もって産業経済の自立発展に寄与することを目的とする。

産業界からみた徳育の重要性 —縁と絆—

東京都産業教育振興会副会長

株式会社 カナック企画 相談役

金子 昌男



知育・徳育・体育の三育が教育の基本と言われています。それに産業教育の場合は、その職に就くために必要な幾つもの育が加わります。しかし、知育にしても、体育その他の育にしても、その中心に徳育の力があってはじめて人間性豊かな人格が形成されると考えます。礼に始まり礼で終わる。礼を尽くす。教育の原点もこう有りたいたいものです。

「利他の心」を養い、人の幸せを自分の幸せと思える人間性、相手の笑顔がいつまでも続くようにそっと応援できる、そのような感性を持つて人間を育てる事が徳育の基本と理解してもいいでしょう。

徳育を産業界で重要視するのは、徳育をしっかり身に付けた若者は、後工程の仕事を考えられ、後工程の仕事が容易く出来るように、仕事の仕組み作りを考えられる人間性を備えていることです。このような人格者が会社にとって貴重な人材になります。

さて、「縁と絆」と言う副題をつけましたが、人間には「縁」が遅くもなく、早すぎる事もなく、今と言う瞬間で公平に与えられています。

「縁」を活かした人が人間性豊かな、他人から信頼される人間になれるものと確信しています。

そしてそれは同時に、信頼される喜びのある人生に変化していくのです。

しかし「縁」を捉えられるか、見過ごしてしまうかは、自分自身の「徳」を積み重ねた結果であり、「徳」の積み重ねを心掛けている人は、「縁」を頂いている事の本質が見えると思っています。

ではその「徳」はどのようにしたら自分の中

に取り込んでいけるのでしょうか。

それは前にも述べた「利他の心」を只々持ち続ける事です。自分自身の中に徳を積んでいけば、「類は友を呼ぶ」の諺にもあるように、いつの間にか良い友と巡り合う事が出来るものです。その逆に自己中心の心が強いと、折角「縁」が出来たのに「絆」まで結べない勿体ない人生を送ることになります。

「因果応報」今を「利他の心」を持って真剣に生きる。

この徳育の実践者が、葛飾区産業界の大先輩信川仁道氏です。信川翁は昨年末にご逝去されましたが、産業教育には特別な思い入れを持ち、公益財団法人産業教育振興中央会、東京都産業教育振興会の役員の責務を果たしてこられました。

又、信川翁は老子哲学の大家で、話をすれば必ず老子が出てきて「道」「不戦勝」「遊びの尊さ」「和以尊為」「吾唯足知」「無有・有無」「表裏一体」等、事あるごとに、老子を引用して物事の対処の仕方を教えてくれました。

その中で我々葛飾区にとって特筆すべきことは、「葛飾区産業フェア」を立ち上げた事です。今では葛飾区の一だ行事になっており、開催期間中小学校、中学校をはじめ10万に近い人が訪れます。この「葛飾区産業フェア」を思いついたのが、「全国産業教育フェア」だったと聞かせてくれました。

謙虚な気持ちで良い事はすぐ取り入れる。老子の「学んで時に之を習う」です。私利私欲なく無我の心で葛飾区の為に活かす。良い生き様を見せてくれました。

会報第158号のコンテンツ

1p：巻頭言 2-3p：都産振ロゴマークの紹介 4p：実践報告 5p：高校生・専門学校生メッセージ 6p：新会員校紹介 7p：新会員企業紹介・総会報告 8p：事務局から

東京都産業教育振興会ロゴマークの審査結果について

東京都産業教育振興会では、当会のロゴマーク等を会員校の高校・高等専門学校・専修学校から募集し、14校から159作品の応募をいただきました。

このたび、応募作品について東京都産業教育振興会ロゴマーク審査会において厳正に審査し、最優秀賞、優秀賞、学校賞を決定しましたので、お知らせします。

今後、商標等の確認作業を経て当会のホームページやリーフレット、各種広報等で使用していきます。

1 ロゴマーク等の選考及び決定

(1) 応募資格

東京都産業教育振興会の会員校の高校生・学生

(2) 公募期間

令和元年7月1日～9月30日

(3) 選考方法

東京都産業教育振興会ロゴマーク審査会(委員長：西澤宏繁会長)により最優秀賞、優秀賞及び学校賞を選考

(4) 決定方法

最優秀賞作品を原案として、商標等の確認作業を経てロゴマークを決定

2 選考結果

(1) 最優秀賞 (1点)



黒岩 風花

東京都立葛飾商業高等学校

作品に込めた思い・作品のコンセプト

三者一体となって育てる教育として三つの葉が連なるデザインをイメージしました。また、小さい葉がいずれ大きくなって新しい若葉を育てるようにと人材を育てる環境に見立てました。

最優秀賞を受賞して

東京都立葛飾商業高等学校

3年(応募時) 黒岩 風花



私は、東京都産業教育振興会がロゴマークを募集していることを先生からお聞きし、学校でデザインを学んできたことから、ぜひとも応募したいと思いました。

募集要項には、東京都産業教育振興会は、学校と企業と行政が三者一体となって産業教育の振興を図る団体であるとして書いてありました。





そこで、まず、三つの葉が連なるデザインをイメージしました。次に、小さい葉がいずれ大きくなって新しい若葉を育てるように、人材を育てる環境に見立てました。さらに、「明るめの緑色」を基調として、三つの葉で未来へはばたく姿をあらわすようにしました。

このような思いでこの作品を仕上げましたが、159点の中の最優秀賞に選んでいただき、大変ありがたく思います。そして、この作品は、東京都産業教育振興会のロゴマークの原案になると伺っておりますが、できあがる東京都産業教育振興会のロゴマークには159名の高校生や学生の思いが込められていると思います。

この作品が親しみやすいロゴマークとして色々な方々の目に入り、少しでも役に立っていただければ大変嬉しいです。

東京都産業教育振興会ロゴマークの審査結果について

(2) 優秀賞 (6点)

		
高瀬 友花 町田・デザイン専門学校	石井 一恵 東京都立工芸高等学校定時制	須崎 夏姫 東京都立町田工業高等学校
		
須田 啓太 東京都立練馬工業高等学校	川田 和 東京都立練馬工業高等学校	堀合 優花 二葉ファッションアカデミー

(3) 学校賞

10 作品以上の応募があった学校

東京都立第四商業高等学校

東京都立荒川商業高等学校

東京都立葛飾商業高等学校

東京都立練馬工業高等学校

東京都立町田工業高等学校

二葉ファッションアカデミー

3 表彰式

新型コロナウイルス感染症対策のため、令和2年2月27日(木)午後4時からの表彰式は中止になりました。

4 その他

令和2年2月19日(水)特許庁長官に商標登録願を提出

5 決定したロゴマーク



ロゴマークのデータは、当会ホームページに掲載しております。



【実践報告】

コロナ禍における

「Cisco Webex」を活用した様々な取組

東京都立町田工業高等学校

主幹教諭 寺島 和彦

1 はじめに

本校は、昭和47年に開校し、平成13年度の学科改編によって都立唯一の「総合情報科」の工業高校として、「Society5.0」時代のIT技術者の育成を目指して実践的な職業教育を推進しています。

2 オンライン会議システム (Webex) の活用

世界最大のネットワーク機器開発会社であるシスコシステムズの協力のもと、本校にはオンライン会議システム「Cisco Webex」が導入されています。

新型コロナウイルス感染症対策で教育活動が制限される中においても、この Webex を活用して様々な教育活動を実践することができました。

3 日本 IBM 社員によるメンタリングの実施

令和4年度から本格実施する企業・専門学校と連携した IT 人材育成のための新たな教育プログラム「Tokyo P-TECH」に向けて、令和元年度から試験的な取組を行っています。

4月27日には、情報システム系列3年生30名に対し、オンラインでの「日本 IBM 社員によるメンタリング」を実施しました。生徒たちは全員自宅に居ながら個人の所有するスマートフォンやノートパソコンで参加しました。自宅学習が続き不安を抱えていたようでしたが、久しぶりに友達の様子を見たり、メンター（日本 IBM 社員）と相談できたりしたことで気持ちが前向きになったようでした。



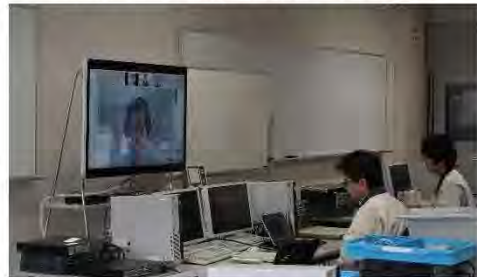
メンタリングでの集合写真

4 オンライン進路ガイダンスの実施

5月20日には、同じく「Tokyo P-TECH」の連携先である日本工学院八王子専門学校の先生を講師に、オンラインでの進路ガイダンスを実施しました。

生徒たちは、例年であればこの時期には進路希望

を明確にし、進路活動も本格化しているのですが、今年は活動が中断され不安が募っているようでした。このようなタイミングで進路ガイダンスが実施できたことは、とても有意義だったと感じています。



Webex Board を使用しての進路ガイダンス

5 シスコ DSN への参加

シスコ DSN（デジタルスクールネットワーク）とは、シスコが提供する「教室の壁を越えて無限に広がる学び」を実現する新たな教育プラットフォームです。全国から高校生が参加しています。

5月29日、6月19日、26日に実施され、「これから求められデジタル人材」や「IoT」、「サイバーセキュリティ」などについて、シスコのSEの方にご講演いただきました。このイベントを通して、全国の高校生たちと一緒に学べたことも、生徒たちにとってはとても刺激になっていました。

6 生徒たちの反応

生徒たちは、オンラインでの様々な学習を通して、IT技術が社会にどのように変革を起こしていくか、当事者意識をもって考えることができたと思います。また、専門学科で学習する内容が社会にどうつながっていくかも実感でき、学習意欲の向上にもつながりました。

7 おわりに

この他にもホームルームや生徒との面談においても Webex が活用されました。また、普通教科での活用も進み、スタディサプリなども組み合わせることで本校のオンラインでの学習支援は飛躍的に進みました。「Society5.0」時代に向かっていく中で、今回の取組を通して、生徒と教員それぞれに大きな気づきと成長が見られました。

ピカッと輝く 在校生からのメッセージ

日本学校農業クラブ連盟全国大会意見発表会 最優秀賞受賞

東京都立大島高等学校
農林科3年 川島 星菜

私は、東京から南に約120キロ離れた、人口約7500人の島、伊豆大島で暮らしています。椿が特産品で、約300万本のヤブツバキが自生している椿の島です。島内には、三つの国際優秀つばき園があり、その内の一つの大島高校つばき園では、八重や一重など約380品種の椿を鑑賞することができます。また、椿は花を鑑賞するだけでなく、椿油や炭、薪などにも活用することができ、古くから大島の人々の生活を支えてきました。

そんな伊豆大島では、人口減少と産業の衰退により耕作放棄地が増加しています。調べてみると、伊豆大島の人口はこの10年間で1000人以上も減少していました。このままでは、島を維持する事が出来なくなってしまうと危機感を抱きました。そこで、これらの課題を解決すべく「耕作放棄地を活用したレモン栽培の可能性」を考え、日本学校農業クラブ連盟意見発表会に参加しました。内容を考えるにあたって、島内でレモン栽培をされている農家や、株式会社椿へ見学に行き「レモンは産業として可能性がある」ということや、

「年間14t排出される椿油の絞り粕を、肥料として使えるのではないかな」などのお話を伺う事が出来ました。そして、これらを踏まえて発表した結果、最優秀賞を受賞。多くの方に伊豆大島を知っていただく良い機会になったと思います。私は意見発表を通して、他校との交流や発表を聞くことで視野を広げ、目標や課題に向けて取り組むことで、努力する姿勢を身につけることができました。

この様な貴重な経験ができたのは、サポートしてくれた先輩方や指導して下さった先生方のお陰だと、心より感謝しています。今後は意見発表で得たことを糧に、課題研究や将来に向けて前進していきます。



専修学校に学んで

学校法人古屋学園 二葉ファッションアカデミー ファッション総合学科2年 松本 龍準

私は二葉ファッションアカデミーで専門課程総合学科2年に所属していて、卒業後は専門職に就職したいと考えています。

二葉ファッションアカデミーは設備がとても充実しており、現場を経験したプロの先生方による的確な指導が特色です。私が本校に入学することの決め手となったのは、少人数クラス編成による教育システムです。私自身大人数でのクラスよりも少人数の方がより集中でき、作業効率を上げることが出来ます。

そして本校の充実した教育設備も十分に活用することができます。なかにはレーザーカッターやUVプリンターなどといったデジタル機器もあり、これらを使った授業などもあります。こういった教育システムや充実した教育設備が二葉の魅力です。

また検定対策も力を入れていて、私が1年生の時には1年間で4つの検定を受け、全て合格しました。学校全体の学生数も多くはないのでいい意味で教員と学生の距離感が近く、そんな空気感があるからこそ個人の力が

伸びるのだと思います。

今回のコロナ禍においても5月より遠隔授業が始まり、ファッションデザインやファッションビジネス、製図などのオンライン授業が行われました。リモートによる講義・作業確認・話し合いなど、自粛期間中にもかかわらず、自宅に居ながらにしてファッションの勉強ができたのは良い経験だと思います。又、オリジナルのマスクを学生自ら製作し、系列校の学生や地域施設に寄付を行っています。従来のファッションの枠に捉われず、新しい試みにチャレンジしています。



学校法人日本ホテル学院
専門学校日本ホテルスクール

〒164-0003 中野区東中野 3-15-14
理事長・校長 石塚 勉
TEL : 03-3360-8231

専門学校日本ホテルスクールは1972年、旧赤坂プリンスホテルの敷地に開校した「プリンスホテルスクール」が第一期生160名を迎えたことに始まります。これまでにホテル・ブライダル分野における人材育成において、日本を代表する教育機関として1万3千人の卒業生を輩出してきました。日本におけるホテルの中堅幹部管理者養成機関として、欧米のホテル学校のシステムを例に、国内の学校形態を配慮して独自の教育体系を形成しています。「理論と実技の一体化によるサービスの創造」を具体化し、理論教育と実務教育、在学中2年間に異なるホテルやブライダル施設での3回の企業実習を行い、サービスから経営まで一貫した教育内容を備えています。



本校ではホテル・ブライダル業界の第一線で活躍できるよう、開校以来一貫して「現場での実践」に力を入れています。業界において評価の高い人材を育成できる背景には学校の強みでもある「業界とのつながり」・「産学連携」があります。企業

実習でホテルやブライダルの現場を経験できるように数多くの企業と連携、ホテルやブライダルの現場のプロフェッショナルや経営者が来校して授業も行います。また、これからの業界の未来を見据え、語学教育や海外研修も行っています。本校を卒業した卒業生とのネットワーク構築にも尽力し、より強固に業界との信頼関係を築いています。

そして、希望者全員が留学できる海外留学制度（カナダ・オーストラリア）、全員参加の海外研修旅行、観光業界の世界的交流組織 Skal Club の青年組織 Yong Skal Club Japan を通じた国際交流（英語専攻科）

などの国際的な教育により、国際的な視野で物事を考えていけるような人材育成にも取り組んでいます。



※職業実践専門課程認定校

※高等教育の修学支援新制度「高等教育無償化」対象機関

新会員校の紹介

学校法人メイ・ウシヤマ学園
ハリウッド美容専門学校

〒106-8541 港区六本木 6-4-1 六本木ヒルズハリウッドプラザ
理事長 山中 祥弘 校長 ジェニー・牛山
TEL : 03-3408-5020

本校は、大正14年（1925年）銀座で開校し、今年で95周年を迎えました。職業実践専門課程認定校のみならず、専門学校進学支援指定校、社会人専門人材育成支援認定校、さらには第三者評価適正校などの数々の認定をいただいております。

2年制の美容総合学科で美容師国家資格を目指すほか、4年制高度専門課程を卒業すると、高度専門士として、本校併設のハリウッド大学院大学のビューティビジネス研究科をはじめ、全国の大学院の修士課程に進学することもできます。一方で、通信課程では在職社会人や在学学生など多様なライフスタイルに最適な学び方を選択でき、通信課程としては出色の国家試験合格率9割超を誇っております。

地下鉄日比谷線六本木駅直結の六本木ヒルズを中心という最高のロケーションに囲まれ、「明るく、楽しく、美しく」を合言葉に「美の天使」を育成しています。



今年度から、全国美容師養成校として実質的に初めてとなる10月入学の募集を始めました。これにより、従来の履修サイクルに加え、10月に入学し9月の国家試験受験後に卒業できる新たなスタイルが誕生いたします。新型コロナ禍により、社会人の学びなおし、「手に職志向」が強まる中で、産業社会全体の要請に即応できるものと考えております。

頑張る東京の産業界 新会員の紹介

あきる野商工会
会長 松村 博文

〒197-0804 あきる野市秋川1-8 あきる野ルピア3階
TEL 042-559-4511

【組織概要】

商工会は、地域の事業者が業種に関わりなく会員となって、お互いの事業の発展や地域の発展のために総合的な活動を行う団体です。また、国や都道府県の小規模企業施策（経営改善普及事業）の実施機関でもあり、小規模事業者のみなさまを支援するために様々な事業を実施しています。

法律（商工会法）に基づいて、主に町村部に設立された公的団体で、全国に1,660の商工会があります。東京都内に限ってみても、島嶼地区を含め27の商工会があり、当会は秋川商工会と五日市商工会が合併することで平成13年に設立いたしました。

現在の会員数は約1,500であり、都内商工会でもトップクラスの加入率を誇ります。



【経営理念】

「商工会は行きます 聞きます 提案します」

我々は常に地域を巡回し、情報収集に努めております。地域の事業者が困っていればすぐに訪問し、課題をヒアリングしたうえで、解決策を提案します。業種や会社規模によって課題は多種多様に及びますが、専門的知識を持った職員がチームを組んで対応し、時に外部専門家の知恵も取り入れながらその事業者に最適な施策を提案します。個別支援とは別に講習会やセミナーなどの集団支援も行うことで、国・都・市の施策をタイムリーに提供できるよう適宜事業を実施しております。

商工会は地域活性化にも力を入れております。行政との緊密な連携の下で行われる夏まつりや産業祭等のイベントの実施、プレミアム付商品券や地域カード(るのかーど)の発行・運営、住宅改修助成金事業の実施等、地域経済を元気づける施策や地域の専門高校との連携も積極的に実施しています。

令和2年度 総会の報告

今年度の理事会及び総会は、新型コロナウイルス感染症対策のため、書面による開催となりました。今年度は、新しい日常に対応しながら事業をすすめてまいります。いくつかの継続事業については、例年とは異なる形態の実施も想定されますので、御理解のほどお願いいたします。

以下に新体制を紹介します。

会長 西澤 宏繁
ForeVision株式会社 取締役 監査等委員会委員長
元・株式会社企業再生支援機構 代表取締役社長、
元・株式会社東京都民銀行 頭取)

副会長 金子 昌男
株式会社カナック企画 相談役

副会長 小林 治彦
東京商工会議所理事・事務局長

副会長 小堀 卓二
東京都立農芸高等学校長

理事長 藤田 裕司
東京都教育委員会教育長

常任理事 谷 理恵子
東京都教育庁都立学校教育部長

常任理事 落合 真人

東京都教育庁都立学校教育部高等学校教育課長

常任監事 長 沢 太 士

東京都教育庁都立学校教育部高等学校教育課課長代理(管理担当)

なお、報告事項(3)令和2年度産業界会員功労者(永年会員)の表彰については、個別に対応させていただきました。

表彰企業は、以下の3社です。

株式会社秋月電子通商

エス・イー・シーエレベーター株式会社

読売新聞社

訃 報

本会の理事を長年務められた信川仁道様は、令和元年12月30日にご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

i n f o r m a t i o n

募

令和2年度
「作文コンクール」作品募集

主催 東京都産業教育振興会
後援 東京商工会議所

応募資格 会員校に在籍する生徒・学生が対象となります。

作文内容 中学校技術・家庭科や高校・専修学校での専門教科の学習、または勤労にかかわる体験的な学習を通して、人生観・職業観、自己の将来に対する考え方や心構え等について述べたもの。

応募締切 9月11日(金)
表彰式 12月18日(金)
会場 東京商工会議所
入選作品は、「明日に生きる」第31号に掲載します。



告

今年度の全国中学生創造ものづくり教育フェアは延期となりましたが…

新型コロナウイルス感染症対策により、ものづくり教育フェアは延期となりました。来年度の中学校技術・家庭科研究会の全国大会は東京都で開催されるため、その準備を進めています。

研究主題 よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築にむけて生活を工夫し創造する資質・能力の育成を目指す技術・家庭科教育一技術や生活に係る見方・考え方を働かせた深い学びを通して一

告

技能五輪全国大会・
全国アビリンピック
2021年度 東京開催!

技能五輪全国大会は、青年技能者が、暮らしを支えるものづくりやサービスの技能を競い合う大会で、全国アビリンピックは、障害者が、日頃培った機能を競い合う大会です。例年、会員校からも選手が出場している大会が東京で開催されます。

告

第30回全国産業教育フェア
大分大会

しらしんけん
「一生懸命」

努力は未来を変える
産業の力は世界を変える

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、参集型開催とインターネット開催を融合させた「新しいスタイル」で全国の高校生の学習成果や産業教育の魅力を発信するものとなります。

STYLE 1 参集型開催

STYLE 2 インターネット開催
方法 特設ホームページ開設
期間 令和2年10月~令和3年3月(予定)

- ・動画配信
- ・生徒実行委員会による大分県紹介意見・体験発表、作品・研究発表、SPH事業発表会
- ・各学科のデモンストレーション
- ・世界農業遺産聞き書き発表等
- ・ネット販売
- ・生徒の生産物、開発商品等

事

事務局より

令和2年度「会報」第158号をお届けいたします。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策から始まりました。集まらないからこそ、会報を充実させねばという思いで編集しました。会報の編集、発行に際してご協力いただきました皆様に深く感謝申し上げます。

- 会報は、ホームページの他、企業・学校会員あてにメールでも発信しています。
- 会員の皆様からのご感想、ご意見などをお寄せください。
- 会員の募集は随時行っております。
- 作文コンクール募集要項などは、ホームページからご覧になれます。

東京都産業教育振興会
ホームページアドレス
<https://www.tosanshin.org/>

発行 東京都産業教育振興会
〒163-8001 東京都新宿区西新宿 2-8-1
東京都教育庁都立学校教育部
高等学校教育課内
電話 03-5320-6729 FAX 03-5388-1727
印刷 株式会社小薬印刷所